

根来山げんきの森倶楽部

令和3年6月作業日誌



梅雨の季節にもかかわらず、今回の活動日は晴天に恵まれ、青空の下気持ちよく作業ができました。新しい倶楽部員の方々もたくさん加わり、森の先輩方からアドバイスを受けながら一丸となって取り組みました。

お昼休みに令和3年度の総会を開催し、新年度事業の承認や新しい理事の選任を行いました。

活動日：令和3年6月20日 9:30～15:00 天気：快晴 倶楽部員：49人



炭窯の天井づくり

5月16日の前回は行った作業に続き、今回は9:30過ぎから昼食と総会を挟み15時前までSさんがリーダーとなり、男性7名（入れ替わりあり）と女性3名で作業をしました。窯の天井づくりに向け、土台となる何本かの太い木を柱にして、最終的にドーム型になるように細い木を積み上げながら、窯の形状に合わせて木を切ったり（現場合わせ）、水準器を用いての大変デリケートな作業となりました。全体の進捗

を考えながらのSさんの指示通り、各自が的確に作業をこなすチームの姿に頼もしさを感じました。今風に「窯作りの情報」を共有するため、グループのLINEも立ち上げています。

地味で衣服や顔が汚れる作業ですが、その分達成感も大きいので少しでも興味のある方は是非とも御参加頂ければ幸いです。（西 勝信）



新しい倶楽部員で里山整備を体験



第3回目の新規倶楽部員対象研修として、草刈りと除伐を行いました。午前中は、昨年度先輩方が植樹されたクマノザクラ周辺の草刈り。道路の山側担当と谷側担当で2班に分かれ、植樹した木が元気に育つよう周辺1メートル範囲程度の下草を刈りました。山側は、目当ての場所へたどり着くまでトゲのある植物（カラスザンショウやクサイチゴ）が多く、根元を足で踏みつけて倒しながら進むように教えていただきました。植樹した目印のリボンはあるものの、目当ての桜が見当たらない場合もあり、他の植物と厳しい生存競争の結果、淘汰されてしまったようです。反面、ササユリが細々と育っていたりと、自然の中では植物は人

の思うようにはいかないと実感しました。

午後は総会の後、除伐の作業を行いました。冊子に掲載された番号札の付いた木の生育の邪魔になりそうな木を切りますが、今回はノコギリで人力のみです。なので、自分で切れると思える太さの木を切るようにと指示されるのですが、ついムキになって太めの木を切りたくなくなってしまいます。やはり木を切るのは爽快です。軽トラ2回分の除採を行った後は随分すっきりとして、日当たりも良くなったと思います。（神浪 佐知子）

うるし谷で階段修理や草刈り

今日のメンバーは9名です。この谷のルーツを知り尽くしている初代リーダーMさんの参加で、いつもより更に超ベテラン揃いとなりました。すごい先輩達ばかりです。

○作業内容→①入り口付近の作業道の整備…壊れかけていた階段の修理です。今日の完成を目指して、Nさんの活動日以外の日の努力のお陰で、ひとまず目標達成です。任せっきりですみません。作業道の整備はこれから先、まだまだ続きます。②南側斜面の竹の整備と草刈り…雨上がりで気温と



湿度が高く、斜面という事もあり会話をする余裕は全くなく、汗でポトポトになり、昨日の雨のしずくでまたポトポトになり、結局しっかりポトポトとなる作業になりましたが、みんなと一緒にしたので気分は良く、キレイになった斜面を眺めて「いやあー！スッキリしたなー！」と、何とも嬉しくなるリーダーYさんの締めの一語。みんなと一緒に作業をすることは、とても大切なことを再認識しました。③



最後にみんな一緒に、よく熟した2杯のカゴからあふれんばかりの南高梅の収穫をしました。旬のモノの収穫はとても楽しいねえ。幸せを感じます。ウメはメンバー以外の倶楽部員さんにも、おすそ分けする事が出来て良かったです。来年もたわわに実らせてもらえたらありがたいのですが。おつかれさま。

○うるし谷の現状…2015年6月18日から始まったウルシの木の植栽。リーダーYさんの自宅で、実生と分根法で育てられた苗木です。現在55本のウルシの木が育っています。一番大きな木は、直径約6~7cm、高さ約5m弱位です。漆かきが出来るまでには、順調に育ってくれてもあと10年はかかりそうです…。しっかりとやっていきます！（林 哉也）



キャラクター出る石垣づくり

石積み部隊は、Sさん指導のもと作業に精を出しました。冒頭、テイラーの機嫌が悪く苦勞しましたが、機械に強い方が頑張ってください、なんとかエンジンがかかり、第2駐車場の石置き場から石を運べました。テイラー2台を使えるとたくさん運べたのですが、結局1台はウンともスンとも動きませんでした。ようやく作業場所まで石を運び、石積みに取り掛かりましたが、石を下ろす時、何も考えずに下ろしてしまい、石は使う場所の近くに置かないと無駄な労力を使うことになることを学びました。今回は10人弱といつもより人数が多かったので、2ヶ所同時進行できました。出来上がりはどちらもなかなかのものでしたが、石垣の雰囲気は違っていたので、積む人のキャラクターが出るものだなあと感じました。驚いたことに、常連メンバーのFさんのおじいさまがプロの石工であったことがつい最近わかり、名工の血を引くFさんは来るべくして石積み班に来たのでした！そのことがわかってからの彼の仕事ぶりはDNAなのか、おじいちゃんが乗り移ったのか生き生きとしたものでした。当時のおじいちゃんの積んだ石垣も故郷にはたくさん残っており、使っていた道具も今もご実家にあるそうで、見てみたいものです。

【今回習った専門用語：ケンスコ：先のとんがったスコップ／ヒラスコ：先が平らなスコップ】

（萬賀 伊津子）

森林ボランティアの作業では、ナタやノコギリ、時にはチェーンソーや草刈り機など様々な道具が使われます。

そのため、道具の使用に習熟することが大切です。ナタは倶楽部員の野島さんが時々来てきれいに研いでくださっています。ノコギリが切れない時は替え刃式になっているので、新しい刃に付け替える必要があります。

草刈り機の刃は研ぐのがたいへんなので刃を付け替えますが、チェーンソーの刃は丁寧に研いで切れるようにしておかないと余分な力やガソリンが必要だけでなく、思わぬ事故を招いたりしかねません。

道具は大切に、そして上手な使い方を学んで、森林ボランティアとしての腕を上げていきましょう。

（岡田 和久）